

U-12ガールズゲーム2024北海道 第12回熊谷・高瀬杯サッカー大会参加報告

2024. 8. 7 (一社)札幌地区サッカー協会 キッズ委員会

8月3日(土)・4日(日)に、旭川市忠和公園多目的広場で開催された「U-12ガールズゲーム2024北海道 第12回熊谷・高瀬杯サッカー大会」。今年度から、U-9交流戦部門が新設されたことを受けて、札幌のU-9の女子選手にも大会参加のチャンスを作ってあげたいと考え、キッズ委員会で参加者を募集したところ、9名(3年生:2名、2年生:6名、1年生:1名)のサッカーガールズが申し込んでくれました。苫小牧のAmistaFCさんの1年生を加えた10名で「札幌サッカーキッズ大集合ガールズ」として大会に参加してきました。



大会の様子から



U-9交流戦部門には、「札幌サッカーキッズ大集合ガールズ」のほかに、「FCガールズ北空知U-9」「空知なでしこサッカースクール」「FC網走・稚内menina」の計4チームの登録がありました。2日間で、4試合が組まれました。交流戦部門ということで、ゲームの人数や時間、コートサイズについても対戦チーム同士で相談して決定させていただきました。2日目には、登録チームの垣根を越えて編制したチームでゲームを行い、たくさんの参加者と交流を図ることができました。コートサイズの変更、時間や人数の変更、審判については、主管地区の「旭川地区サッカー協会」のスタッフの皆さんに多大なるご配慮やお世話をいただき、大変感謝しております。



大会に参加して

日頃は、別々のチームで活動している選手たち、そしていつもと違う指導者ということで、大会前は、「サッカーキッズ大集合スペシャルトレーニング夏」で顔合わせをし、別日に1時間程度の合同練習をすることで選手たちの心配を和らげようと準備しました。それでも、同じチームとしてサッカーをすることへの不安や緊張、コミュニケーションが図れるかなど懸念される要素はいくつもありました。しかし、そんな大人の心配は無用でした。旭川で集合後、すぐに打ち解け合って仲良くなった選手たち。ゲームも初戦こそ、緊張感が感じられましたが、2戦目以降は、声を掛け合ったり、パスをしたりと以前から一緒にやっていたかのようにゲームに臨んでいました。今回のキッズ委員会としてのチャレンジには、それなりの手応えを感じています。今後も女子も含めたキッズ年代の選手の活躍の場を作っていきたいと考えています。